

第5章

特許庁におけるデザイン経営の取組

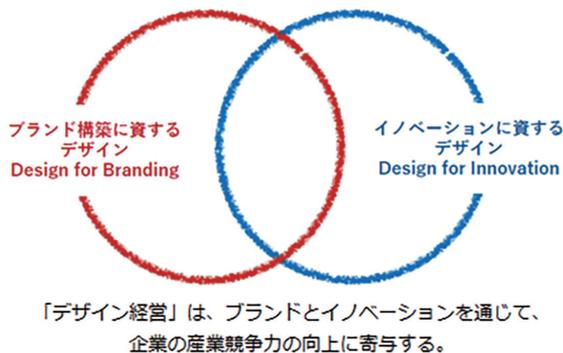
1. 「デザイン経営」とは

「デザイン経営」とは、デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法である。その本質は、人(ユーザー)を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、これまでの発想にとらわれない、それでいて実現可能な解決策を、柔軟に反復・改善を繰り返しながら生み出すことである。

経済産業省・特許庁は、2017年7月に開始した「産業競争力とデザインを考える研究会」の議論の結果、2018年5月に報告書『「デザイン経営」宣言¹』を取りまとめた。

『「デザイン経営」宣言』では、「デザイン経営」の効果や、実践のための7つの具体的な取り組みも示されている。

2-5-1 図【「デザイン経営」の効果】



2-5-2 図【「デザイン経営」のための具体的取組】

「デザイン経営」のための具体的取組

- ① デザイン責任者（CDO,CCO,CXO等）の経営チームへの参画
デザインを企業戦略の中核に関連付け、デザインについて経営メンバーと密なコミュニケーションを取る。
- ② 事業戦略・製品・サービス開発の最上流からデザインが参画
デザイナーが最上流から計画に参加する。
- ③ 「デザイン経営」の推進組織の設置
組織図の重要な位置にデザイン部門を位置付け、社内横断でデザインを実施する。
- ④ デザイン手法による顧客の潜在ニーズの発見
観察手法の導入により、顧客の潜在ニーズを発見する。
- ⑤ アジャイル型開発プロセスの実施
観察・仮説構築・試作・再仮説構築の反復により、質とスピードの両取りを行う。
- ⑥ 採用および人材の育成
デザイン人材の採用を強化する。また、ビジネス人材やテクノロジー人材に対するデザイン手法の教育を行うことで、デザインマインドを向上させる。
- ⑦ デザインの結果指標・プロセス指標の設計を工夫
指標作成の難しいデザインについても、観察可能で長期的な企業価値を向上させるための指標策定を試みる。

2. 「デザイン経営」の実践例²

これからデザイン経営にチャレンジしたいと考えるビジネスパーソンの皆様の疑問を解消し、実践する際の参考にさせていただくため、「デザインにぴんとこないビジネスパーソンのための「デザイン経営」ハンドブック」と『「デザイン経営」の課題と解決事例』をまとめた。

1 「デザイン経営」宣言

<https://www.jpo.go.jp/resources/shingikai/kenkyukai/kyousou-design/document/index/01houkokusho.pdf>

2 デザインにぴんとこないビジネスパーソンのための「デザイン経営」ハンドブック

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/document/design_keiei/handbook_20200319.pdf

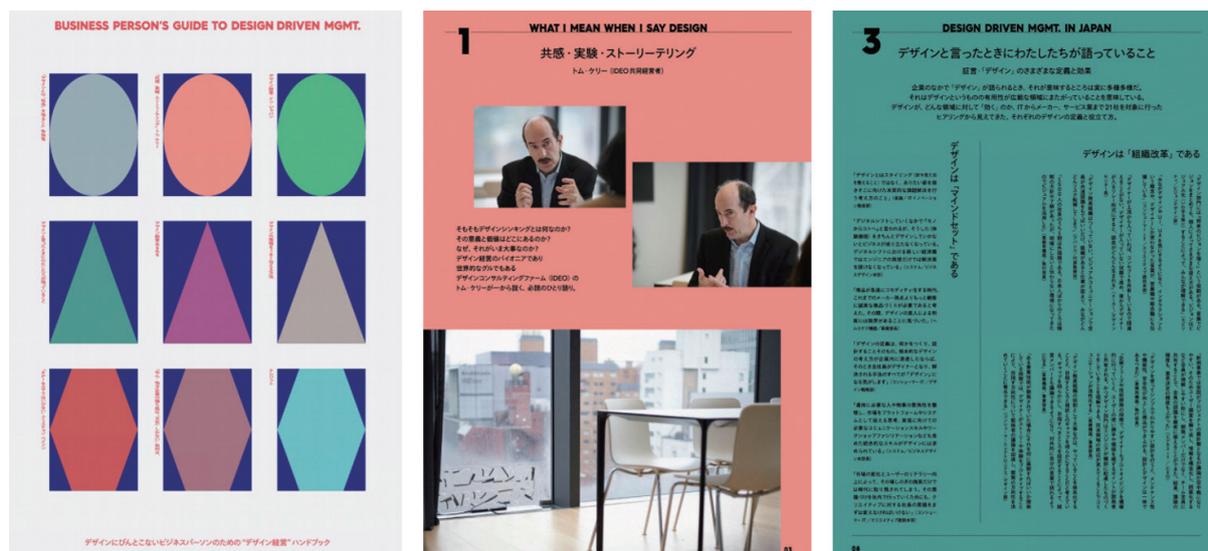


(1) デザイン経営 ハンドブック

「デザインにぴんとこないビジネスパーソンのための“デザイン経営”ハンドブック」は、デザイン経営のビジネスでの活用のため、「そもそもデザイン

シンキング(デザイン思考)とは何なのか?その意義と価値はどこにあるのか?なぜ、それがいま大事なのか?」に対する考え方や、デザイン経営を導入するにあたっての8つの課題などを具体的に記載している。

2-5-3 図【デザインにぴんとこないビジネスパーソンのための“デザイン経営”ハンドブック】



目次

- デザインとは「社会」を知ること 若林恵
- 共感・実験・ストーリーテリング トム・ケリー
- デザイン経営・イン・ジャパン
- デザインと言ったときに私たちが語っていること
- デザイン経営あるある
- デザインの価値をうまく伝える方法
- KPIを立ててはいけない クリスチャン・ベイソン
- 中小・地方企業の勝ち組は「文化」しかない 田村大

(2) デザイン経営の課題と解決事例¹

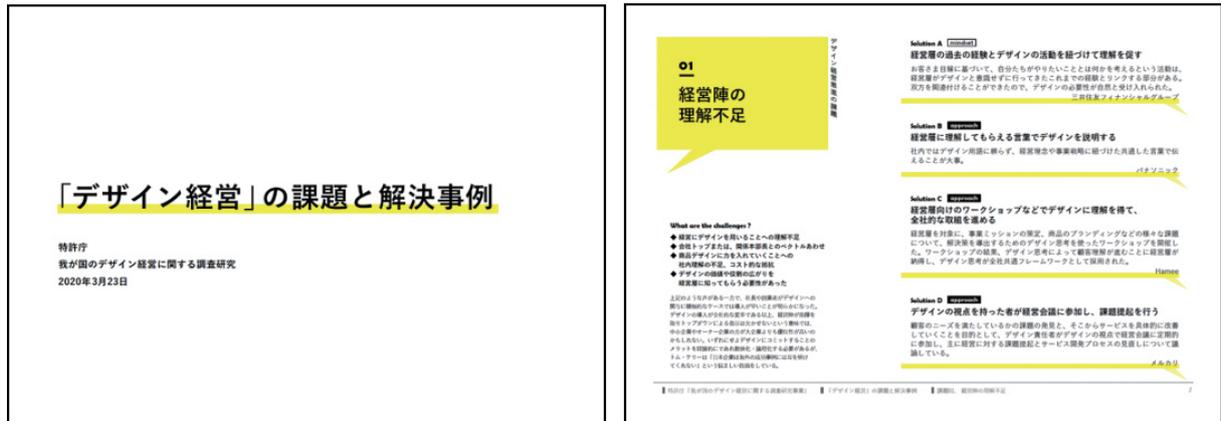
これからデザイン経営にチャレンジしてみようというビジネスパーソンの皆様の疑問を解消し、実践する際の参考にさせていただくため、既にデザイン経営に取り組んでいる企業96社のアンケート

回答と、21社及び3名の専門家へのヒアリングより、デザイン経営を導入するにあたっての8つの課題に対し、既にデザイン経営に取り組んでいる企業による課題を乗り越えるための工夫をまとめている。

¹ 「デザイン経営」の課題と解決事例
https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/document/design_keiei/jirei_20200319.pdf



2-5-4 図 【「デザイン経営」の課題と解決事例】



< 8つの課題 >

- 1, 経営陣の理解不足
- 2, 全社的な意識の不統一
- 3, 用語・理解の不統一
- 4, 人材・人事
- 5, 効果を定量化できない
- 6, 組織体制・評価指標ができていない
- 7, ビジネスとの両立
- 8, 既存プロセスへの組込

3. 特許庁における、デザイン経営の実践

『「デザイン経営」宣言』において、行政においても「デザイン経営」を実践していくことの必要性が提言されたことを受け、特許庁では、行政サービスの品質の向上を図るため、2018年8月に「デザイン統括責任者(CDO)」を設置し、その下に「デザイン経営プロジェクトチーム」を立ち上げ、デザイン経営を実践している。

2019年度の各チームの取組

(1) 広報チーム

デザイン思考で「こども霞が関見学デー」を再設計し、「知財を伝える」というこれまでのコンセプトを「きみの手で“あたらしいワクワク”をつくろう!!」に置き換え、「ジュニアイノベーションフェス2019¹」として、霞が関だけでなく、国立科学博物館でもイベントを実施した。創造の楽しさや、

創造が切り拓く未来をこどもたち自身に感じてもらうことを目的として、こどもたち自身が選んだ課題に応じてうちわを作成し、特許庁職員がその性能やデザインを評価することや、人気投票を行うなどの新たな仕組みを導入した。参加者からは「発明が楽しかった」などのコメントを多数いただいた。

1 「ジュニアイノベーションフェス2019」を開催しました (2019年8月7、8、13、14日開催)
https://www.jpo.go.jp/news/koho/kidsday/2019kodomo_kengaku_kekka.html





(2) 国内サービス・ブランディングチーム

「どうしたら知的財産の重要性を、知的財産を知らない人にも伝えられるか?」という課題に対し、中小企業の方々へのヒアリングと議論を重ね、知的財産の重要性を“自分ごと化”してもらうための仕組みづくりが重要という結論になった。

「商標権はビジネスの基本」、「商標権を知らずにビジネスをすることは経営上の大きなリスク」というメッセージを届けることを目指し、「商標拳～ビジネスを守る奥義～」動画及び特設サイト¹を2020年1月に公開。Twitter約320万回、YouTube約170万回の再生を達成した。



¹ 「商標拳～ビジネスを守る奥義～」動画及び特設サイトを公開しました
https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/shohyoken/index.html



(3) UI (ユーザーインターフェイス) チーム

「中小企業などにみられる孤独な知財担当者を助ける」という課題を設定し、そうした知財担当者の多くが悩んでいるであろう「拒絶理由通知書」への対応をサポートする方法を検討し、2020年1月に特許庁から送付される「拒絶理由通知」と

「登録査定」に対して、次に何をすれば良いかをわかりやすく案内する「お助けサイト～通知を受け取った方へ～」¹を開設した。同年4月からは各種通知に添付される「注意書」に、お助けサイトへのアクセスを簡便にするためのQRコード²を付与している。



(4) 大阪・関西万博チーム

2025年の大阪・関西万博に向けて、WIPOや諸外国との協力を進め、万博で世界に発信する

将来の知財制度や、人材、教育、サービス等知財を取り巻く環境のあるべき姿についてビジョンから検討を行っている。

1 「お助けサイト～通知を受け取った方へ～」
<https://www.jpo.go.jp/system/basic/otasuke-n/index.html>

2 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



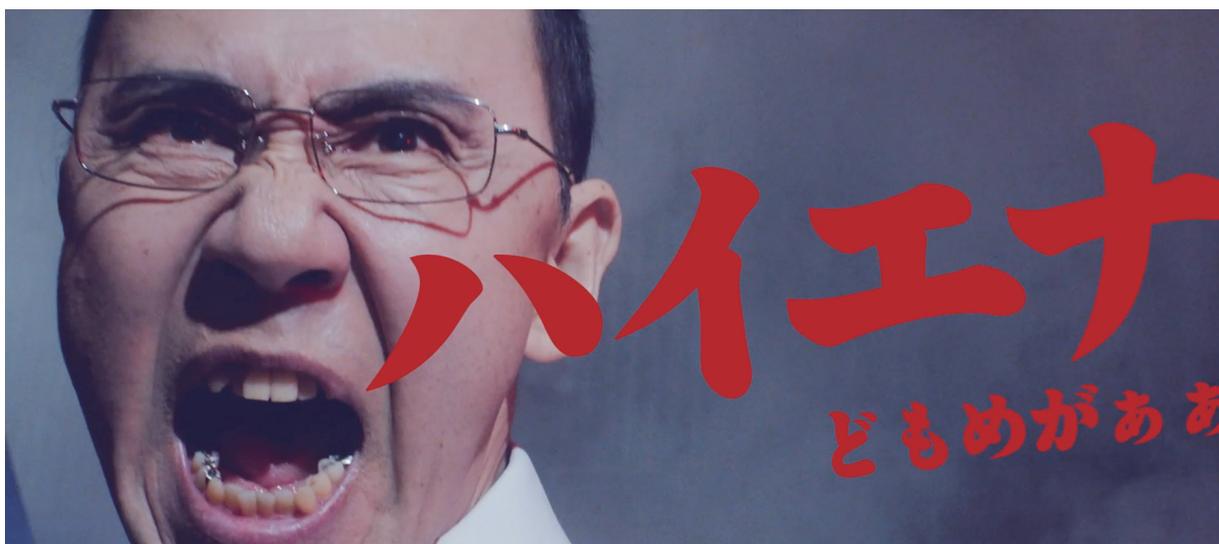
【無双おじさん】「商標拳」～ビジネスを守る奥義～

知的財産の中でも身近な商標権を取り上げ、「商標権はビジネスの基本」、「商標権を知らずにビジネスをすることは経営上の大きなリスク」というメッセージを届けることを目指し、無関心層にとって“自分ごと”として捉えられる内容かつ興味を引きやすい内容とすべく、「商標拳～ビジネスを守る奥義～」動画及び特設サイト¹を2020年1月に公開した。

●【動画】「商標×拳法」のハイスピードバトル

模倣品の被害に遭い窮地に陥る一企業の社長が、「商標拳」を会得しニセモノを製造する悪徳模

倣品業者に立ち向かうストーリーのカンフー動画を公開した。



動画イメージ

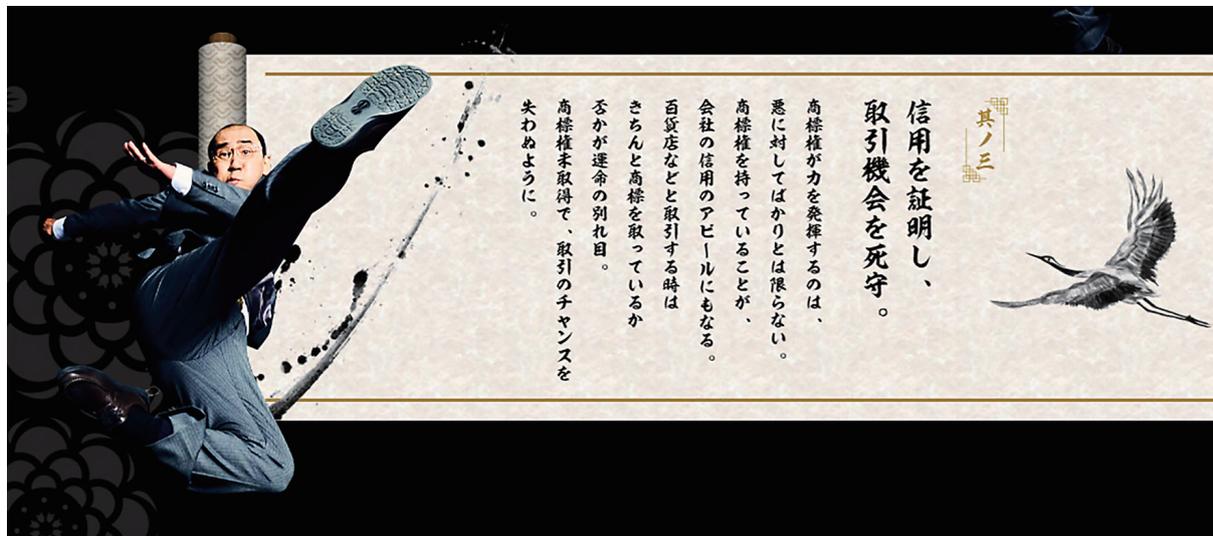
¹ 「商標拳～ビジネスを守る奥義～」動画及び特設サイトを公開しました
https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/shohyoken/index.html



●【特設サイト】商標権の効果や活用方法を紹介

「商標拳」の世界観で「商標権」を紹介している。「商標出願のいろは」や「商標活用事例集」など、

更に知識を深めたい方用のコンテンツも取りそろえている。



特設サイトの様子（商標権の効力の説明）



特設サイトの様子（商標の説明）